

学会発表

第119回日本耳鼻咽喉科学会（横浜）2018年5月
交通外傷後に片側性眉毛下垂と眼瞼下垂を来した
3症例：相馬啓子，國弘幸伸

総合歯科医学研究所

硬組織疾患制御再建学部門
硬組織機能解析学ユニット

著書

宇田川信之，小出雅則，中村美どり，尾崎友輝，
吉成伸夫（分担執筆）（2018）第2章 2 免疫・骨の
変化とその対策・治療上の注意点：高齢者への歯周
治療と口腔管理，pp81-4，吉江弘正，吉成伸夫，
米山武義編，インターアクション社，東京

論文発表

Ikebuchi Y, Aoki S, Honma M, Hayashi M, Sugamori Y, Khan M, Kariya Y, Kato G, Tabata Y, Penninger JM, Udagawa N, Aoki K and Suzuki H (2018) Coupling of bone resorption and formation by RANKL reverse signalling. *Nature* **561** : 195–200. doi: 10.1038/s41586-018-0482-7

Nakamichi Y, Udagawa N, Suda T and Takahashi N (2018) Mechanisms involved in bone resorption regulated by vitamin D. *J Steroid Biochem Mol Biol* **177** : 70–6. doi: 10.1016/j.jsbmb.2017.11.005

Uehara S, Udagawa N and Kobayashi Y (2018) Non-canonical Wnt signals regulate cytoskeletal remodeling in osteoclasts. *Cell Mol Life Sci* **75** : 3683–3692. doi: 10.1007/s00018-018-2881-1

Murakami K, Kikugawa S, Kobayashi Y, Uehara S, Suzuki T, Kato H, Udagawa N and Nakamura Y (2018) Olfactomedin-like protein OLFML1 inhibits Hippo signaling and mineralization in osteoblasts. *Biochem Biophys Res Commun* **28** : 419–25. doi: 10.1016/j.bbrc.2018.09.112

Bando JK, Gilfillan S, Song C, McDonald KG, Huang SC, Newberry RD, Kobayashi Y, Allan DSJ, Carlyle JR, Cella M and Colonna M (2018) The Tumor Necrosis Factor Superfamily Member RANKL Suppresses Effector Cytokine Production in Group 3 Innate Lymphoid Cells. *Immunity* **48** : 1208–19. doi: 10.1016/j.immuni.2018.04.012

Shimada A, Ideno H, Arai Y, Komatsu K, Wada

S, Yamashita T, Amizuka N, Pöschl E, Brachvogel B, Nakamura Y, Nakashima K, Mizukami H, Ezura Y and Nifuji A (2018) Annexin A5 involvement in bone overgrowth at the enthesis. *J Bone Miner Res* **33** : 1532–43. doi: 10.1002/jbmr.3453

Koide M and Kobayashi Y (2018) Regulatory mechanisms of sclerostin expression during bone remodeling. *J Bone Miner Metab.* **37** : 9–17. doi:10.1007/s00774-018-0971-7

守安攝子，長岡 香，中澤恵美子，福満典子，中村美どり，荒 敏昭，吉成伸夫，宇田川信之，矢ヶ崎雅（2018）歯周治療の動脈硬化症指標（Cardio Ankle Vascular Index: CAVI）に対する効果。松本歯学 **44** : 79–87

その他学術著作物

宇田川信之，小出雅則，中村美どり，熊倉誠一郎，福田千恵，津田英資（2018）骨カップリング機構と骨粗鬆症治療薬。日本骨粗鬆症学会雑誌 **4** : 269–74

宇田川信之，荒井 敦，村上康平，高橋直之（2018）歯科医学の分野でトピックとなっている論文のレビュー。日本骨粗鬆症学会雑誌 **4** : 601–3

宇田川信之（2018）ASBMR 2017トピックス～基礎研究（破骨細胞・骨吸収関連）。CLINICAL CALCIUM **28** : 104–8

招待講演

日本抗加齢学会総会シンポジウム（第18回）2018年5月

臓器年齢と酸化ストレス—破骨細胞研究からの骨年齢—：宇田川信之（第18回日本抗加齢学会総会プログラム抄録集：p100）

Osteoimmunology Seminar（2018）2018年6月
骨免疫学，破骨細胞に関する最新の知見：宇田川信之

日本骨代謝学会学術集会（第36回）2018年7月
Wntシグナルによる骨吸収制御と関節炎：小林泰浩（第36回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集：p109）

破骨細胞研究の歴史を振り返る：高橋直之（第36回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集：p126）

歯槽骨の骨リモデリングにおける骨細胞の役割：小出雅則，宇田川信之（第36回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集：p111）

日本歯科理工学会中部地方会夏期セミナー 2018年8月

骨はダイナミックに躍動している：宇田川信之
歯科基礎医学会学術大会（第60回）2018年9月

骨改造制御の新局面：骨吸収から骨形成・骨再生への橋渡し機構を探る—破骨細胞の骨形成シグナル

における重要性—: 宇田川信之

2018 Annual Meeting of Korean Association of Oral Science 2018年11月

How does vitamin D regulate osteoclastic bone resorption?: Takahashi N (17th Annual Meeting of Korean Association of Oral Science Program abstracts : p10)

Dentistry Quo Vadis? 2018年12月

なぜ 共存培養だったのか: 高橋直之 (2018 Dentistry Quo Vadis? 抄録集)

日本歯科学学生連盟総会教育セミナー (第2回) 2018年12月

破骨細胞と骨芽細胞による骨代謝リモデリング: 宇田川信之

学会発表

日本骨免疫学会ウインターセミナー (第3回) 2018年1月

スクレロステチン発現の抑制を介する破骨細胞による海綿骨の骨形成促進: 小出雅則, 小林泰浩, 山下照仁, 上原俊介, 村上康平, 高橋直之, 宇田川信之 (第3回日本骨免疫学会ウインターセミナー抄録集: p17, WO8)

Wnt5a-Ror2シグナルによる Pkn3を介した破骨細胞機能促進: 上原俊介, 村上康平, 山下照仁, 小出雅則, 高橋直之, 宇田川信之, 小林泰浩 (第3回日本骨免疫学会ウインターセミナー抄録集: p18, WO9)

破骨細胞に発現する Siglec-15の骨代謝カップリングにおける重要性: 宇田川信之, 小出雅則, 上原俊介, 荒井 敦, 溝口利英, 中村美どり, 山下照仁, 小林泰浩, 高橋直之, 福田千恵, 津田英資 (第3回日本骨免疫学会ウインターセミナー抄録集: p19, WP2)

春季日本歯周病学会学術大会 (第61回) 2018年5月

破骨細胞由来の LIF は, sclerostin 発現を低下させて骨形成を促進する: 小出雅則, 尾崎友輝, 中村圭吾, 宇田川信之, 石原裕一, 吉成伸夫 (第61回春季日本歯周病学会学術大会抄録集: p125, P-05)

日本骨免疫学会 (第4回) 2018年6月

Pkn3阻害薬による破骨細胞の骨吸収制御: 上原俊介, 山下照仁, 小出雅則, 村上康平, 中村 貴, 加藤茂明, 宇田川信之, 高橋直之, 小林泰浩 (第4回日本骨免疫学会プログラム: p113, P9-2)

Analysis of PTH-induced osteoblastic differentiation from BM-MCSs: 楊 孟雨, 荒井 敦, 宇田川信之, 平賀 徹, 小林泰浩, 高橋直之, 溝口利英 (第4回日本骨免疫学会プログラム: p62, P1-2)

修復象牙質形成に対する象牙芽細胞死の重要性: 趙 麗娟, 荒井 敦, 宇田川信之, 堀部寛治, 小林

泰浩, 高橋直之, 李 憲起, 各務秀明, 溝口利英 (第4回日本骨免疫学会プログラム: p97, P6-6)

日本骨代謝学会学術集会 (第36回) 2018年7月

Wnt5a-Ror2シグナルは, Daam2-Rho-Pkn3-c-Src 経路を介して破骨細胞の骨吸収を促進する: 上原俊介, 山下照仁, 村上康平, 小出雅則, 中村 貴, 加藤茂明, 宇田川信之, 高橋直之, 小林泰浩 (第36回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p156, O-56)

破骨細胞はスクレロステチン発現の抑制を介して海綿骨の骨形成を促進する: 小出雅則, 小林泰浩, 山下照仁, 上原俊介, 村上康平, 高橋直之, 宇田川信之 (第36回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p157, O-59)

破骨細胞に発現する Siglec-15の中和抗体は骨吸収を抑制しながら骨芽細胞の分化を促進する: 宇田川信之, 小出雅則, 上原俊介, 荒井 敦, 溝口利英, 山下照仁, 中村美どり, 小林泰浩, 高橋直之, 熊倉誠一郎, 福田千恵, 津田英資 (第36回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p158, O-62)

ヒストンメチル化酵素 G9a は破骨細胞分化を負に制御する: 小松浩一郎, 出野 尚, 中島和久, 山下照仁, 宇田川信之, 立花 誠, 二藤 彰 (第36回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p158, O-63)

間葉系細胞由来 TRPM7による骨格形成制御: 進正史, 溝口利英, 岡本富士雄, 鍛冶屋 浩, 荒井敦, 宇田川信之, 岡部幸司 (第36回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p143, O-03)

象牙芽細胞の枯渇は修復象牙質を誘導する: 趙麗娟, 荒井 敦, 堀部寛治, 楊 孟雨, 細矢明宏, 小林泰浩, 宇田川信之, 高橋直之, 溝口利英 (第36回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p177, P2-11)

Bone Biology Forum (第15回) 2018年8月

Rho-Pkn3-c-Src pathways promote the bone-resorbing activity of osteoclasts under Wnt5a-Ror2 signaling pathways: Uehara S, Yamashita T, Murakami K, Koide M, Nakamura T, Kato S, Udagawa N, Takahashi N and Kobayashi Y (第15回 Bone Biology Forum プログラム抄録集: 別冊 p5, P-5)

歯科基礎医学会学術大会 (第60回) 2018年9月

破骨細胞はスクレロステチン発現を抑制して海綿骨の骨形成を促進する: 小出雅則, 小林泰浩, 山下照仁, 上原俊介, 村上康平, 高橋直之, 宇田川信之 (第60回歯科基礎医学会学術大会抄録集: J Oral Biosci Suppl : p165, O2-32)

ヒストンメチル化酵素 G9a の破骨細胞分化制御への関与: 小松浩一郎, 出野 尚, 中島和久, 山下照仁, 宇田川信之, 二藤 彰 (第60回歯科基礎医学会学術大会抄録集: J Oral Biosci Suppl : p184, O2-51)

Aggregatibacter actinomycetemcomitans由来 LtxA のヒト破骨細胞への作用: 高橋晋平, 三好智博,

山下照仁, 村上康平, 小林泰浩, 宇田川信之, 吉成伸夫, 吉田明弘 (第60回歯科基礎医学会学術大会抄録集; J Oral Biosci Suppl : p421, P2-65)

歯髄における破歯細胞抑制メカニズムの解析: 西田大輔, 荒井 敦, 宇田川信之, 中村美どり, 原弥革力, 堀部寛治, 小林泰浩, 高橋直之, 溝口利英 (第60回歯科基礎医学会学術大会抄録集; J Oral Biosci Suppl : p189, O-2-56)

The American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR) 2018 Annual Meeting 2018年9月

Sialic acid-binding immunoglobulin-like lectin 15 (Siglec-15) plays important roles in the induction of both bone-resorbing activity of osteoclasts and osteoblast differentiation: Udagawa N, Koide M, Uehara S, Arai A, Mizoguchi T, Yamashita T, Nakamura M, Kobayashi Y, Takahashi N, Kumakura S, Fukuda C and Tsuda E (JBMR 33 : pS381, MON-0652)

Annexin A5 prevents force-mediated bone ridge overgrowth at the enthesis: Ideno H, Arai Y, Komatsu K, Nakashima K, Wada S, Yamashita T, Pöschl E, Brachvogel B, Ezura Y and Nifuji A (JBMR 33 : pS136, SAT-0143)

オーラルサイエンス研究会 (第2回) 2018年11月

Wnt5a-Ror2シグナルによる破骨細胞の骨吸収活性制御は, Rho-Pkn3-c-Src 経路を介する: 上原俊介, 山下照仁, 村上康平, 小出雅則, 宇田川信之, 高橋直之, 小林泰浩 (第2回オーラルサイエンス研究会抄録集: p15, 一般講演3-6)

破骨細胞はスクレロステチン発現を抑制して海綿骨の骨形成を促進する: 小出雅則, 小林泰浩, 山下照仁, 上原俊介, 村上康平, 高橋直之, 宇田川信之 (第2回オーラルサイエンス研究会抄録集: p13, 一般講演2-4)

松本歯科大学学会 (第87回) 2018年11月

破骨細胞はスクレロステチン発現を抑制して海綿骨の骨形成を促進する: 小出雅則, 山下照仁, 小林泰浩, 高橋直之, 村上康平, 上原俊介, 宇田川信之, 保田尚孝 (講演要旨集: 演題7)

象牙芽細胞の枯渇は修復象牙質を誘導する: 趙麗娟, 荒井 敦, 堀部寛治, 小林泰浩, 宇田川信之, 高橋直之, 李 憲起, 各務秀明, 溝口利英 (講演要旨集: 演題8)

日本分子生物学会年会 (第41回) 2018年11月

タンパク質の過剰発現は破骨細胞前駆細胞の融合を抑制する: 中島和久, 小松浩一郎, 出野 尚, 山下照仁, 宇田川信之, 二藤 彰 (第41回日本分子生物学会年会; Late-breaking Abstract)

日本歯周病学会中部地区大学日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会 (第13回) 2018年11月

破骨細胞はスクレロステチン発現を抑制して海綿骨の骨形成を促進する: 小出雅則, 尾崎友輝, 中村

圭吾, 保田尚孝, 宇田川信之, 石原裕一, 吉成伸夫 (講演要旨集: O1-1)

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

小林泰浩, 高橋直之, 上原俊介, 山下照仁, 平賀徹: Wntシグナルネットワークを基盤とした歯槽骨代謝回転制御法の開発 (基盤研究A)

高橋直之, 小林泰浩, 中村浩彰, 南 康博, 宇田川信之, 荒 敏昭: 骨代謝共役を担うクラストカイン-Wntシグナルネットワークの解明 (基盤研究B)

宇田川信之, 小出雅則, 中道裕子, 中村美どり, 溝口利英, 上原俊介: 破骨細胞からの骨形成シグナルを利用した歯周病治療薬の応用開発 (基盤研究B)

溝口利英, 荒井 敦, 小林泰浩, 宇田川信之, 細矢明宏: フェイトマッピング解析法を用いた歯髄幹細胞が司る象牙質再生機構の全容解明 (基盤研究B)

小出雅則, 宇田川信之, 吉成伸夫, 石原裕一, 平賀徹, 上原俊介: 破骨細胞によるスクレロステチン分泌制御を基盤とした新規歯周治療薬の開発 (基盤研究B)

山下照仁, 堀部寛治, 高橋直之: 骨細胞の老化は骨代謝に悪影響を与えているのか (基盤研究C)

中道裕子, 宇田川信之: 非典型的Wnt受容体Rykシグナルによる骨形成および骨ミネラル代謝制御機構の解明 (基盤研究C)

上原俊介, 小林泰浩, 細矢明宏: Pkn3が制御する破骨細胞骨吸収機構の解明 (基盤研究C)

二宮 禎, 小出雅則, 中村浩彰: 細胞遊走因子LRPIの歯周組織修復環境における機能的役割 (基盤研究C)

小林泰浩, 小出雅則, 村上康平, 上原俊介: 幹細胞の分化を司る組織常在型M3マクロファージとそのマスター転写因子の同定 (挑戦的研究 (開拓))

宇田川信之, 小出雅則, 吉成伸夫, 中本哲自, 中村美どり, 上原俊介: 抗加齢因子としてのオステオプロテゲリンの新しい機能の解析と臨床応用 (挑戦的研究 (萌芽))

中道裕子: 非典型的なWnt受容体Rykシグナルによる骨代謝制御機構の解明 (国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化))

その他の研究助成

高橋直之, 中道裕子: ビタミンDとWntシグナル破綻による骨代謝疾患に関する研究活動 (中外製薬 研究活動の支援)

高橋直之, 宇田川信之: 新規分子標的薬の作用メカニズム研究 (第一三共 共同研究)

硬組織疾患制御再建学部門
遺伝子・再生工学ユニット

論文発表

Nakamura S, Shioya K, Hiraoka BY, Suzuki N, Hoshino T, Fujiwara T, Yoshinari N and Yoshida A (2018) Porphyromonas gingivalis hydrogen sulfide enhances methyl mercaptan-induced pathogenicity in mouse abscess formation. *Micobiology* **164** : 529–39

硬組織制御再建学部門
硬組織疾患病態解析学ユニット

著書

井上 孝, 田中昭男, 長谷川博雅 (編集主幹) 病理学総論にもとづく口腔病理学, 第2版 (ISBN978-4-8160-1336-2), 永末書店, 京都, 2018.1.30発行

川上敏行 (分担執筆) 第2章 齲蝕, pp33–52, 高木 實監修, 高田 隆, 豊澤 悟編, 口腔病理アトラス, 第3版 (ISBN978-8306-7004-6), 文光堂, 東京, 2018.2.15発行

長谷川博雅 (分担執筆) 第11章 口腔粘膜上皮の腫瘍および腫瘍状病変, 第12章 口腔軟組織・顎骨の腫瘍および腫瘍状病, pp235–90, 高木 實監修, 高田 隆, 豊澤 悟編, 口腔病理アトラス, 第3版 (ISBN978-8306-7004-6), 文光堂, 東京, 2018.2.15発行

長谷川博雅 (分担執筆) 第5章 根尖性歯周組織疾患, pp67–78, 新口腔病理学, 第2版 (ISBN978-4-263-45815-0), 医歯薬出版, 東京, 2018.4.10発行

論文

Matsuda S, Moriyama K, Shoumura M, Kida A, Tsujigiwa H, Takabatake K, Kawai H, Nakano K, Okafuji N, Osuga N and Kawakami T (2018) Possibility of Notch signaling role in the cell differentiation of experimentally induced periodontal polyp. *J Dent Oral Sci* **4** : 0107

Takabatake K, Tsujigiwa H, Song Y, Matsuda H, Kawai H, Fujii M, Hamada M, Nakano K, Kawakami T and Nagatsuka H (2018) The role of bone marrow-derived cells during ectopic bone formation of mouse femoral muscle in GFP mouse bone marrow transplantation model. *Int J Med Sci* **15** : 748–57

Nakayasu Y, Aoki S, Shoumura M, Osuga N,

Okafuji N, Nakano K, Nagatsuka H, Tsujigiwa H and Kawakami T (2018) Cell supplying to the experimentally induced absorbable suture thread foreign body granuloma from the bone marrow tissues. *Int J Dent Oral Sci* **5** : 641–4

Yoshida W, Sugita Y, Isomura M, Kawai R, Kubo K, Maeda H, Ueda Y, Nakano K, Nagatsuka H and Kawakami T (2018) Signaling dynamics in cell differentiation of pleomorphic adenomas. *J Dent Oral Health* **4** : 0114, 1–8

Nakayasu Y, Aoki S, Shoumura M, Osuga N, Okafuji N, Nakano K, Nagatsuka H, Tsujigiwa H and Kawakami T (2018) Pathological analysis on tissue reactions to absorbable monofilament suture –using GFP bone marrow transplanted rat model –. *J Dent Oral Health* **4**(122) : 1–4

Saito A, Taguchi A, Hasegawa H and Kagami H (2018) A case of adenomatoid odontogenic tumor with unusual presentation extending from gingiva to periodontal space. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* **30** : 533–7

Shimada K, Ochiai T, Shen FC and Hasegawa H (2018) Phenotypic alteration of basal cells in oral lichen planus; switching keratin 19 and desmoglein 1 expression. *J Oral Sci* **60** : 507–13

Shimada K, Ochiai T and Hasegawa H (2018) Ectopic transglutaminase and 3 expression accelerating keratinization in oral lichen planus. *J Int Med Res* **46** : 4722–30

Shen FC, Ogasawara T, Shinotsuka K, Miyahara K, Isono K, Mochiduki N, Matsumura K, Shimada K, Ochiai T, Kakinoki Y and Hasegawa H (2018) Histopathological evaluation of oral membranous substance in bedridden elderly persons without oral intake in Japan. *Gerodontology*. DOI: 10.1111/ger.12379

学会発表

日本病理学会総会 (第107回) 2018年6月 (札幌)
実験的に誘発させたコレステリン肉芽腫における細胞分化の病理学的解析: 中野敬介, 川上敏行, 辻極秀次, 長塚 仁 (日病会誌 **107** (1) : 458–9 (P2–226))

Asia Pacific Congress on Dental and Oral Health (32nd) 2018年7月 (シドニー, オーストラリア)

Cell supplying into the experimentally induced foreign body granuloma from the bone marrow mesenchymal cells: Kawakami T, Shoumura M, Matsuda S, Moriyama K, Nakano K, Tsujigiwa H, Nagatsuka H and Osuga N (*Oral Health Dent Manage* **17** : 43)

Possible role of Notch signaling in the cells from migration of the bone marrow mesenchymal cells experimentally induced periodontal inflammatory lesions using GFP BMT-model mice: Shoumura M, Matsuda S, Moriyama K, Kida A, Osuga N, Okafuji N, Nakano K, Tsujigiwa H and Kawakami T (Oral Health Dent Manage 17 : 44)

硬組織再生生物学会総会 (28回) 2018年 8月 (東京)

吸収性縫合糸 Vicryl® と Vicryl Rapide® に対する異物反応の相違—GFP 骨髄移植ラットを用いての検討—: 中安喜一, 青木紗衣佳, 正村正仁, 大須賀直人, 岡藤範正, 辻極秀次, 中野敬介, 長塚 仁, 川上敏行 (J Hard Tissue Biol 27 : 366-7; プログラム抄録集 : p32)

日本口腔病理学会総会 (第29回) 2018年 8月 (東京)

口腔粘膜上皮の周辺帯関連タンパク質の局在—Transglutaminase, Involucrin と Small proline-rich proteins—: 嶋田勝光, Rita Rani Roy, 落合隆永, 川上敏行, 長谷川博雅 (プログラム抄録集 : p91)

口唇腺における mammaglobin 陽性細胞の分布: 清水まや, 大谷有希, 嶋田勝光, Rita Rani Roy, 落合隆永, 川上敏行, 長谷川博雅 (プログラム抄録集 : p132)

歯科基礎医学会総会 (60回) 2018年 9月 (福岡)

吸収性縫合糸 Vicryl に対する GFP 骨髄移植ラットにおける皮下組織の反応: 中野敬介, 中安喜一, 正村正仁, 大須賀直人, 辻極秀次, 長塚 仁, 川上敏行 (J Oral Biosci 60(S) : 437, 2018)

トランスグルタミナーゼ研究会 (第21回) 2018年 9月 (京都)

Transglutaminase の基質の分布が口腔粘膜上皮の分化に関与する—Involucrin と Small proline-rich proteins—: 嶋田勝光, Rita Rani Roy, 落合隆永, 長谷川博雅 (プログラム抄録集 : p2)

日本矯正歯科学会大会 (第77回) 2018年10月~11月 (幕張)

P-065. マウス歯周組織への歯科矯正学的メカニカルストレス負荷による HSP27 の組織化学的推移: 村岡理奈, 中野敬介, 川上敏行, 山田一尋, 岡藤範正

日本口腔外科学会総会 (63回) 2018年11月 (幕張)

エナメル上皮における Heat Shock Protein27 の発現と細胞分化: 上田優貴子, 中野敬介, 吉田和加, 杉田好彦, 久保勝俊, 前田初彦, 長谷川博雅, 川上敏行 (日口外誌 64(S) : 324)

松本歯科大学学会 (例会) 第87回2018年11月 (塩尻)

Mammaglobin は口唇腺に広く分布する: 大谷有希, 清水まや, 嶋田勝光, Rita Rani Roy, 落合隆永, 川上敏行, 長谷川博雅 (松本歯学 44(2) : 150)

日本肝臓学会東部会 (第42回) 2018年12月 (東京)

組織と臨床像が解離した, UDCA で沈静化した潜

在性 AIH の1例: 大内琴世, 藤川博敏, 宮川 浩, 長谷川博雅, 増田あい, 野上麻子, 堤 菜津子, 宇野昭毅, 有馬修平, 松岡俊一, 森山光彦 (肝臓 59 Supple(3) : A918)

原発性胆汁性胆管炎にける Nakanuma 組織分類, バイオマーカーと肝硬度との相関: 大内琴世, 藤川博敏, 宮川 浩, 長谷川博雅, 野上麻子, 増田あい, 松岡俊一, 森山光彦 (肝臓 59 Supple(3) : A919)

急性増悪を繰り返し連続肝生検で診断した好酸球増多症を伴う肝障害の長期観察の1例: 増田あい, 藤川博敏, 長谷川博雅, 野上麻子, 大内琴世, 堤菜津子, 宇野昭毅, 有馬修平, 松岡俊一 (肝臓 59 Supple(3) : A919)

受賞

Asia Pacific Congress on Dental and Oral Health (32nd) 2018年 7月 (シドニー, オーストラリア)

Cell supplying into the experimentally induced foreign body granuloma from the bone marrow mesenchymal: Kawakami T (Best Poster Award 受賞)

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

川上敏行, 富田美穂子, 前田初彦, 長塚 仁: 口腔増殖性病変の病理発生における細胞の増殖・移動そして分化機構の解明 (基盤研究 C)

富田美穂子, 川上敏行, 寺田智新: ストレスによる生体反応が痛覚伝導路に与える影響 (基盤研究 C)

正村正仁, 中野敬介, 辻極秀次, 川上敏行, 大須賀直人: 象牙質歯髄複合体の修復における骨髄間葉系細胞の関与 (基盤研究 C)

小笠原 正, 柿木保明, 吉田明弘, 長谷川博雅, 岡田芳幸: 次世代シーケンサーによる剥離上皮膜を有する要介護高齢者の口腔と咽頭の細菌叢解析 (基盤研究 C)

その他の研究補助金による研究

清水まや, 大谷有希, 嶋田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅: 口唇腺を構成する細胞は分泌癌の発生母細胞となるか? (長野県科学復興会研究助成金)

硬組織疾患制御再建学部門

生体材料学ユニット

学会発表

第66回日本歯科理工学会学術講演会 2018年 4月
ルチル型二酸化チタン焼結体上でのマウス骨芽細

胞様細胞の ALP 活性：横井由紀子，永澤 栄，黒岩昭弘

第48回日本口腔インプラント学会学術大会 2018年9月

アナターゼ型 TiO₂ 焼結体上でのマウス骨芽様細胞のアルカリフォスファターゼ活性：横井由紀子，笠原隼男，山口正人，内田啓一，永澤 栄，黒岩昭弘

硬組織疾患制御再建学部門
臨床病態評価学ユニット

論文発表

Li X, Li N, Chen K, Nagasawa S, Yoshizawa M and Kagami H (2018) Around 90° Contact Angle of Dish Surface Is a Key Factor in Achieving Spontaneous Spheroid Formation. *Tissue Eng Part C Methods* 24 : 578–84. doi: 10.1089/ten.TEC.2018.0188

Kagami H, Inoue M, Kobayashi A, Taguchi A, Li X and Yoshizawa M (2018) Issues with the surgical treatment of antiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaws. *Oral Dis* 24 : 52–6. doi: 10.1111/odi.12783

Zhang L, Niu Y, Zhao B, Yang J and Li X (2018) Role of peri-implant clinical parameters in change of blood glucose level on type 2 diabetes mellitus: a literature review. *OHDM* 17(4)

学会発表

第17回日本再生医療学会総会（横浜）2018年3月
Generation and analysis of sphere-forming cells from mouse compact bone: Chen K, Li X, Li N, Dong H, Yoshizawa M and Kagami H

Characterization of sphere-forming cells from mouse oral mucosa: Li N, Li X, Chen K, Dong H, Yoshizawa M and Kagami H

第72回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会（名古屋）2018年5月

スフェロイド形成による骨由来間葉系幹細胞の新規培養法の確立：李 憲起，芳澤享子，各務秀明（日口腔科誌 67 : 160）

修復象牙質形成における象牙芽細胞死の重要性：趙 麗娟，溝口利英，荒井 敦，堀部寛治，宇田川信之，高橋直之，李 憲起，各務秀明（日口腔科誌 67 : 160–1）

第29回甲信越北陸口腔保健研究会 2018年7月（福井）

小児の歯肉炎リスク判定における唾液検査の有効性：薦田 智，定岡 直，川原一郎，八上公利，土屋

総一郎

第36回日本骨代謝学会学術集会（長崎）2018年7月

象牙芽細胞の枯渇は修復象牙質を誘導する：趙麗娟，荒井 敦，堀部寛治，楊 孟雨，細矢明宏，小林泰浩，宇田川信之，高橋直之，溝口利英，李 憲起，各務秀明（プログラム抄録集：177頁）

TERMIS World Congress 2018（京都）2018年9月
Generation and analysis of spheroid from mouse compact bone-derived cells: Chen K, Li X, Li N, Dong H, Yoshizawa M and Kagami H (a90769)

Characteristic analyses of spheroids from oral mucosal cells in mice: Li N, Li X, Chen K, Dong H, Yoshizawa M and Kagami H (a90776)

第63回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会（幕張）2018年11月

歯の移植と歯槽骨再生同時治療のための基礎的研究：内川恵里，芳澤享子，松村奈穂美，李 憲起，各務秀明（プログラム抄録集：327頁，P7–3）

新たなスフェロイド形成法は高い骨形成性を有する幹細胞の選択培養を可能にする：李 憲起，芳澤享子，各務秀明（プログラム抄録集：328頁，P7–6）

第87回松本歯科大学学会（例会）（塩尻）2018年11月

象牙芽細胞の枯渇は修復象牙質を誘導する：趙麗娟，荒井 敦，堀部寛治，小林泰浩，宇田川信之，高橋直之，李 憲起，各務秀明，溝口利英

顎口腔機能制御学部門
咀嚼機能解析学ユニット

著 書

増田裕次（分担）（2018）成人～高齢者向け咀嚼機能アップBOOK，小野高裕，増田裕次（監），クインテッセンス，東京

北川純一，海野俊平，Mohammad Zakir Hossain，安藤宏，増田裕次（分担）（2018）口腔・咽頭・喉頭領域の感覚，In 口・鼻・耳の感覚メカニズムと応用技術，S&T 出版，東京，p3–13

論文発表

Kamimura R, Hossain MZ, Unno S, Ando H, Masuda Y, Takahashi K, Otake M, Saito I and Kitagawa J (2018) Inhibition of 2-arac 0 hydonoyl-glycerol degradation attenuates orofacial neuropathic pain in trigeminal nerve-injured mice. *J Oral Sci* 60(1) : 37–44

Matoba H, Kanayama H, Kato T, Hossain MZ, Kitagawa J, Takehana Y, Yamada K and Masuda

Y (2018) Temporal changes in occlusal vertical dimension and its involvement in modulation of jaw movement in bite-reduced animals. *J Oral Sci* **60** : 170-6

Hossain MZ, Ando H, Unno S, Masuda Y and Kitagawa J (2018) Activation of TRPV1 and TRPM8 channels in the larynx and associated laryngopharyngeal regions facilitates the swallowing reflex. *Int J Mol Sci* **19** : 4113

学会発表

日本顎口腔機能学会第60回学術大会 2018年4月 (横浜)

新たな口唇トレーニングによる口腔機能の向上：山田蘭子, 長井 健, 竹花快恵, 影山 徹, 山田一尋, 増田裕次 (日本顎口腔機能学会誌 **24**(2))

日本顎口腔機能学会第61回学術大会 2018年9月 (東京)

咬合低下モデル動物に咬合挙上を施した後の咬合高径の経日的変化：霜野良介, 菅生秀昭, 増田裕次 (日本顎口腔機能学会誌 **25**(1) : in press)

Oral Neuroscience 2018 2018年10月 (吹田)

Temporal changes in occlusal vertical dimension after bite-raising in bite-reducing model animals: Shimono R, Masuda Y and Kato T (Oral Neuroscience 2018 Program & Abstract : 2018)

日本咀嚼学会第29回学術大会 2018年10月 (松本)

ゲーム感覚で行う口唇トレーニングによる口腔機能の向上：山田蘭子, 増田裕次 (日本咀嚼学会誌 **28**(2))

幼・保, 小・中学校における, 学校, 家庭, 地域と連携した咀嚼の啓発活動：安富和子, 増田裕次 (日本咀嚼学会誌 **28**(2))

日本ラクトフェリン学会第8回学術集会 2018年10月 (広島)

健常成人におけるラクトフェリン+ラクトパーオキシダーゼ配合錠菓の口腔の健康維持・改善効果：吉田明弘, 中野 学, 若林裕之, 山内恒治, 阿部文明, 増田裕次 (日本ラクトフェリン学会第8回学術集会)

第12回三叉神経感覚—運動統合機構研究会 2018年12月 (勝浦)

外耳道のひずみで咀嚼回数をカウントする方法に対する食品の影響：吉野旭宏, 菅生秀昭, 霜野良介, 山田紗織, 増田裕次 (第12回三叉神経感覚—運動統合機構研究会)

講演会

長野県シニア大学 2018年1月 (松本)

口が健康であることの意義—噛むことの効用—：

増田裕次

塩尻ロマン大学 2017年7月 (塩尻)

口は「幸せ」のもと—口腔機能の向上で健康生活：

増田裕次

塩尻市職員研修会 給食調理員対象 2018年7月 (塩尻)

食べるということから健康を考える～よく噛んで食べる～：増田裕次

第17回日本咀嚼学会健康咀嚼指導士認定研修会 2017年8月 (東京)

咀嚼の意義と健康咀嚼指導士：増田裕次

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

増田裕次：外耳道のひずみの計測波形から咀嚼回数を計数する装置の開発 (挑戦的萌芽研究 (代表))

増田裕次：包括的な生理学的根拠に基づく新たな嚥下障害の治療法の検討 (基盤研究 C (分担代表者：北川純一))

増田裕次：咽頭・喉頭領域における TRP チャンルの生理学的機能の検討：「のどごし」と嚥下誘発 (基盤研究 C (分担代表者：安藤 宏))

その他の研究補助金による研究

増田裕次：自立高齢者を増やすための革新的食品提供システムの開発 (戦略的国際共同研究プログラム 日本—スウェーデン共同研究 JST (分担代表者：松尾浩一郎))

顎口腔機能制御学部門

生体調節制御学ユニット

著 書

金銅英二 (分担執筆) (2018) 口腔解剖学, 第2版, 57-9, 医歯薬出版, 東京

論文発表

Okamoto N, Okumura M, Tadokoro O, Sogawa N, Tomida M and Kondo E (2018) Effect of single-nucleotide polymorphisms in TRPV1 on burning pain and capsaicin sensitivity in Japanese adults. *Mol Pain* **14** : 1744806918804439

学会発表

第123回日本解剖学会総会全国学術集会 2018年3月 (東京)

心臓の位置と大動脈の異常を伴った胸管の破格

例：田所 治, 奥村雅代, 前田信吾, 金銅英二, 矢ヶ崎 裕, 堀部寛治, 中村浩彰 (プログラム抄録集 : p169, 2P-104)

第40回日本疼痛学会 2018年6月 (長崎)

顎顔面領域 Central post-stroke pain: CPSP の治療経験：金銅英二, 谷山貴一, 石田麻依子, 齧島弘之, 澁谷 徹

第46回日本歯科麻酔学会総会 学術集会 2018年10月 (奈良)

顎顔面領域 Central post-stroke pain: CPSP の治療経験：金銅英二, 谷山貴一, 石田麻依子, 齧島弘之, 澁谷 徹

15th International Dental Congress on Anesthesia, Sedation and Pain Control (IFDAS 2018) 2018年10月 (Nara)

A case of central post-stroke pain in orofacial region : Kondo E, Taniyama K, Ishida M, Haishima H and Shibutani T

第87回松本歯科大学学会 (例会) 2018年11月 (塩尻)

顎顔面領域 Central post-stroke pain: CPSP の治療経験：金銅英二, 谷山貴一, 石田麻依子, 齧島弘之, 澁谷 徹

講演会

口腔顔面痛脳学習キャンプ in 信州 2018年8月 (塩尻)

脳の構造と機能, 末梢神経系の構造と機能：金銅英二, 奥村雅代

日本歯科学学生連盟 第一回大会 2018年12月 (塩尻)

脳の発生と構造・機能：金銅英二

健康増進口腔科学部門

口腔健康分析学ユニット

著書

Kawakami T, Kaneko K, Takaya T, Aoki S, Muraoka R, Tomida M, Okafuji N, Shoumura M, Osuga N, Nakano K, Tsujigiwa H and Nagatuka H (2018) Vonnie DC Shields ed., Histology, Bone Marrow Mesenchymal Cell Contribution in Maintenance of Periodontal Ligament Homeostasis

論文発表

Matsuda S, Moriyama K, Shoumura M, Kida A, Tsujigiwa H, Takabatake K, Kawai K, Nakano K, Okafuji N, Osuga N and Kawakami K (2018) Possibility of Notch Signaling Role in the Cell Differ-

entiation of Experimentally Induced Periodontal Polyp. Journal of Dental and Oral Health: P138-43

Nakayasu Y, Aoki S, Shoumura M, Osuga N, Okafuji N, Nakano K, Nagatsuka H, Tsujigiwa H and Kawakami T (2018) Cell Supplying to the Experimentally Induced Absorbable Suture Thread Foreign Body Granuloma from the Bone Marrow Tissues. Oral Science: 641-5

鷹股哲也, 佐藤雅方, 菊池 勤, 笠原隼男, 鍵谷真吾, 米田鋳一, 大東史奈, 土田 実, 正村正仁, 大須賀直人, 荒 敏昭 (2018) 高分子バイオマテリアル (Bio-trans-polyisoprene) のマウスガード材への応用に関する基礎的研究. スポーツ歯学 22 (1) : 1-9

Nakayasu Y, Aoki S, Shoumura M, Osuga N, Okafuji N, Nakano K, Nagatsuka H, Tsujigiwa H and Kawakami K (2018) Pathological analysis on tissue reactions to absorbable monofilament suture—using GFP bone marrow transplanted rat model. Journal of Dental and Oral Health 4(4) : 2-4

横井由紀子, 荒井 敦, 河村 純, 大須賀直人, 岡藤範正 (2018) 歯科矯正における歯の移動の力学 1—有限要素シミュレーション—. 咬み合わせの科学 38(1-2) : 57-63

横井由紀子, 山木貴子, 河村 純, 遊佐辰徳, 江花照夫, 岡藤範正, 大須賀直人 (2018) 歯周組織に対するクラウンループの力学的影響—有限要素法による解析—. 小児歯科学会誌 56(4) : 427-33

学会発表

第56回日本小児歯科学会 2018年5月

歯根膜修復における Notch シグナルの関与：松田紗衣佳, 松田厚子, 紀田晃生, 水島秀元, 森山敬太, 横井由紀子, 正村正仁, 大須賀直人

クラウンループの先端形状と頬舌側方向における脱離の関係—有限要素法シミュレーション—：横井由紀子, 山木貴子, 江花照夫, 河村 純, 岡藤範正, 大須賀直人

第65回日本小児保健協会学術集会 2018年6月

全身麻酔下集中歯科治療を行った多数歯重症齲蝕症患児における食事と生活リズムの検討：森山敬太, 三井恵理奈, 竹内由里, 大須賀直人

32nd Asia Pacific Dental and Oral Health Congress 2018年7月

Possible role of Notch signaling in the cells from migration of the bone marrow mesenchymal tissues experimentally induced periodontal inflammatory lesions using GFP BMT—model mice: Shoumura M, Matsuda S, Moriyama K, Kida A, Osuga N, Okafuji N, Nakano K, Tsujigiwa H, Nagatsuka

H and Kawakami T

第37回日本小児歯科学会中部地方会 2018年11月
全身麻酔下集中歯科治療を行った多数歯重症齲蝕
症患児における食生活調査：森山敬太，三井恵理奈，
竹内由里，正村正仁，大須賀直人

機能的矯正装置を装着した歯列の有限要素モデル
第2報—反対咬合の早期初期治療装置—：横井由紀子，
河村 純，山本貴子，岡藤範正，大須賀直人

第87回松本歯科大学学会 2018年11月

有限要素法によるクラウンループの力学的研究：
横井由紀子，江花照夫，荒井 敦，岡藤範正，大須賀
直人

講演会

沼津市歯科医師会 2018年1月20日

歯の発育異常：大須賀直人

茅野諏訪地区歯科医師会 2018年4月6日

低フォスファターゼ症：大須賀直人

松本歯科大学校友会富山県支部 2018年11月10日

一般開業医に役立つ小児の口腔管理：大須賀直人

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

正村正仁，大須賀直人，川上敏行，辻極秀次，中野
敬介，長塚 仁：象牙質・歯髄複合体の修復反応に
おける骨髄間葉系細胞の関与（基盤研究C）

健康増進健康科学

口腔健康政策学ユニット

著書

小笠原 正（編集，分担）（2018）有病者歯科学，
第1版，p136-141，p184-8，永末書店

小笠原 正（編集，分担）（2018）よくわかる高齢
者歯科学，第1版，p10-3，永末書店

望月慎恭，小笠原 正（分担執筆）（2018）障害者
の歯科治療 臨床編，永末書店

論文発表

Shen FC, Ogasawara T, Shinotsuka K, Miyahara
K, Isono K, Mochiduki N, Matsumura K, Shimada
K, Ochiai T, Kakinoki Y and Hasegawa H (2018)
Histopathological evaluation of oral membranous
substance in bedridden elderly persons without
oral intake in Japan. Gerodontology. doi: 10.1111/
ger.12379

石原紀彰，小笠原 正，朝比奈伯明，磯野員達，
望月慎恭，鈴木貴之，大槻征久，緒方克也（2018）

歯科医師の行動調整法の選択要因と障害者自身の同
意 認定医へのアンケート結果から。障害者歯 39：
402-8

磯野員達，三井達久，樋口雄大，古谷千昌，小笠原
正，岡田芳幸（2018）笑気吸入鎮静が交感神経性圧
受容器反射感受性に与える影響。障害者歯科 39：
395-401

鈴木貴之，小笠原 正，磯野員達，望月慎恭，大槻
征久，緒方克也，岡田芳幸（2018）知的能力障害者
における行動調整法を理解できるレディネス 意思
決定支援のために。障害者歯科 39：8-15

岩崎仁史，伊沢正行，磯野員達，望月慎恭，松村
康平，岡田芳幸，小笠原 正（2018）静脈麻酔下
における歯科処置時のプロポフォール投与量の増加要
因。松本歯学 44：1-6

伊藤加代子，福島正義，川良美佐雄，阪口英夫，
大渡凡人，小笠原 正，日山邦枝，羽村 章，櫻井
薫（2018）一般社団法人日本老年歯科医学会教育問
題検討委員会：わが国の歯科衛生士養成校における
老年歯科医学教育の実態。老年歯科医学 32：457-67

岩崎仁史，伊沢正行，磯野員達，望月慎恭，松村
康平，岡田芳幸，小笠原 正（2018）静脈麻酔下
における歯科処置時のプロポフォール投与量の増加要
因。松本歯学 44：1-6

Shinotsuka K, Ogasawara T, Shen FC, Matsu-
mura K, Mochiduki N, Isono K, Miyahara K,
Hasegawa H, Kakinoki Y, Ochiai T and Shimada
K (2018) Histopathological evaluation of oral
membranous substance in bedridden elderly per-
sons without oral intake in Japan. Gerodontology
(in press)

鈴木貴之，小笠原 正，磯野員達，望月慎恭，大槻
征久，緒方克也，岡田芳幸（2018）知的障害者にお
ける行動調整法を理解できるレディネス。障歯誌
39：8-15

石原紀彰，小笠原 正，朝比奈伯明，磯野員達，
望月慎恭，鈴木貴之，大槻征久，緒方克也（2018）
歯科医師の行動調整法の選択的要因と障害者自身の
同意—認定医へのアンケートから—。障歯誌 39：
402-8

その他の学術著作物

小笠原 正（2018）私の処方 歯科治療に起因す
る感染性心内膜炎の予防。Modern Physician 38：
1086-7

小笠原 正（2018）認知症患者に可撤性義歯を作
製する際のポイント。Dental Diamond 44：149-51

小笠原 正（2019）要介護高齢者にみられる口腔
症状。歯科医療 33：10-7

福田 理，一戸達也，小笠原 正，野本たかと，
向井美恵，一般社団法人日本障害者歯科学会ガイド

ライン検討委員会 (2018) 歯科治療時の身体 (体動) 抑制に関するガイドライン検討委員会治療時の身体 (体動) 抑制法に関する手引き. 障害者歯科 39: 45-53

学会発表

日本老年歯科医学会学術大会 (東京) 2018年6月
剥離上皮膜の有無と口腔・咽頭細菌叢 次世代シーケンスによる解析: 秋枝俊江, 松村康平, 宮原康太, 高井経之, 岡田尚則, 島田 茂, 柿木保明, 岡田芳幸, 小笠原 正

北信越障害者歯科臨床研究会 2018年7月
障害者への行動調整法と保護者への思い: 朝比奈伯明, 朝比奈滉直, 山上裕介, 立浪康晴, 日出嶋康博, 水野二郎, 折山 弘, 小笠原 正

日本嚙下摂食嚙下リハビリテーション学会学術大会 (宮城) 2018年9月

剥離上皮膜と口腔・咽頭細菌叢の検索 次世代シーケンスによる解析: 秋枝俊江, 磯野員達, 河瀬聡一郎, 脇本仁奈, 井上恭代, 谷口 誠, 吉田明弘, 小笠原 正

第35回日本障害者歯科学会総会および学術大会 (東京) 2018年11月

リドカインテープ応用による浸潤麻酔法の検討: 石原紀彰, 朝比奈伯明, 岩谷和大, 西連寺瑠美, 西連寺央康, 平出吉範, 副島之彦, 望月慎恭, 小笠原 正, 靛島弘之

障害者歯科治療における静脈麻酔法の合併症: 朝比奈伯明, 石原紀彰, 岡田尚則, 西山孝宏, 岩崎仁史, 伊沢正行, 磯野員達, 望月慎恭, 樋口雄大, 田村瞬至, 小笠原 正, 靛島弘之

床用レジン誤飲・誤嚥時における MDCT による検出精度の検討: 望月慎恭, 朝比奈伯明, 高井経之, 小柴慶一, 河瀬瑞穂, 河瀬聡一郎, 磯野員達, 小笠原 正, 靛島弘之

リドカインテープ応用による浸潤麻酔法の知的障害者への効果: 朝比奈滉直, 朝比奈伯明, 石原紀彰, 磯野員達, 望月慎恭, 小笠原 正, 靛島弘之, 小島広臣, 大槻真理子, 大槻征久, 福沢雄司

経管栄養患者と経口摂取者の口腔・咽頭細菌叢の検索 次世代ジークエンスによる解析: 秋枝俊江, 宮原康太, 磯野員達, 松村康平, 黒田たまき, 木村莉子, 那須小夢樹, 島田 茂, 植松紳一郎, 安東信行, 谷口誠, 小笠原 正

一番染色体長腕中間部重複症候群の患者の一例: 山上裕介, 脇本仁奈, 長江麻帆, 秋枝俊江, 松村東栄, 磯野員達, 小笠原 正, 靛島弘之

障害者歯科治療における静脈内鎮静法の合併症: 朝比奈伯明, 石原紀彰, 岡田尚則, 西山孝宏, 岩崎仁史, 伊沢正行, 磯野員達, 望月慎恭, 小笠原 正, 靛島弘之

特別講演

The 15th International Dental Congress on Anesthesia, Sedation and Pain Control, a triennial meeting of the International Federation of Dental Anesthesiology Societies, IFDAS2018 (Nara Kasugano International Forum IRAKA, Nara, JAPAN) October, 2018

Basic Lecture "Inhalation Sedation Revisited": Ogasawara T

2018 the 41st Annual Scientific Meeting of Association for Dental Sciences of the Republic of China (ADS-ROC) (Kaohsiung Exhibition Center (KEC) in Kaohsiung, Taiwan) October, 2018

Guest Speech & Symposium "How to Achieve Disabled People's Quality of Life from View Point of Dentistry": Ogasawara T

講演会

宮城県歯科医師会 (石巻) 2018年2月

「第3回障がい児・者のQOLについて多職種で考える会」: 小笠原 正

岡谷下諏訪市歯科医師会学術勉強会 (岡谷) 2018年6月

「救急医療実技講習会」: 小笠原 正

松本歯科大学校友会京都府支部設立三十周年記念学術講演会 (京都) 2018年6月

「認知症の基礎知識と歯科の対応」: 小笠原 正

長野県立こども病院 ダウン症グループ外来ひまわり 2018年11月

「歯の健康」: 小笠原 正

高知県歯科医師会 (高知) 2018年8月

「地域における障害者歯科」: 小笠原 正

札幌市歯科医師会 平成30年度学術講演会 (西・手稲支部合同講演会) (札幌) 2018年9月

「フレイルの基礎的知識と歯科の対応」: 小笠原 正

愛知県歯科医師会 (名古屋) 2018年9月

「自閉スペクトラム症の歯科治療 地域での対応」: 小笠原 正

茅野市歯科医師会 口腔ケアセミナー 市民公開講座 (茅野) 2018年10月

「摂食嚙下障害の人のための口腔ケア」: 小笠原 正

長野県歯科医師会 (松本歯科大学) 2018年12月

「学校でできる障がい児童への将来を見据えた健康管理の方法と発達障害の早期発見につながる見方・接し方」: 小笠原 正

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

小笠原 正, 長谷川博雅, 落合隆永, 柿木保明:
口腔乾燥の要介護高齢者における咽頭の汚染物の病
態解明と予防法の確立 (基盤研究 C (代表研究者))